

授業科目	対象別公衆衛生看護活動論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	布花原 明子										
授業概要	実務家教員として保健師の経験を生かし、地域の特定集団がもつ共通の課題を理解し、地域を基盤として展開する公衆衛生看護活動を解説します。授業では、地域住民をライフステージ（母子、成人、高齢者）、健康課題（感染症、障害、メンタルヘルス、難病等）ごとに進め、対象集団ごとに全国的な現状と課題及び対策の概要をふまえ、公衆衛生看護活動を学習します。										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>対象集団の健康課題とその解決のための制度、対策及びサービス内容を説明できる。制度を根拠に個/家族アプローチ、集団アプローチ、地域づくりの視点で、公衆衛生看護活動を説明できる。また、その活動において連携する主な関係機関と関連職種について説明できる。</p> <p>1. 講義で取り上げる対象集団がもつ健康課題を説明できる。                  2. 保健医療福祉の制度と対策、主なサービス内容と、その中で看護職が担うところが説明できる。                  3. 公衆衛生看護活動について、個/家族アプローチ、集団アプローチ、地域づくりを連動させて展開することを説明できる。                  4. 保健医療福祉に関連する行政機関、専門職種の役割と連携について説明できる。</p>										
理想的 レベル	標準的なレベルに加えて、講義で取り上げる対象集団について社会で話題となっている出来事や、保健師ジャーナル等の特集で取り上げられている事例を使って、自分なりの解釈を説明できるとよい。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）			備考							
試験	50%										
小テスト	30%										
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	20%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	NU21506J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
講義内容の予習・復習										4	
第1回授業で提示された予習及び復習課題											
授業計画											
第1回	オリエンテーション										

	公衆衛生看護活動における「平等と公平」 担当：布花原明子
第2回	成人保健医療福祉の主な施策と公衆衛生看護活動 健康日本 21（第二次）の最終評価と健康日本 21（第三次）に向けて 担当：布花原明子
第3回	成人期におけるポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチの方法論による疾病予防の公衆衛生看護活動1 地域全体への支援 担当：布花原明子
第4回	成人期におけるポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチの方法論による疾病予防の公衆衛生看護活動2 行動変容ステージモデルを活用したハイリスクアプローチ 担当：布花原明子
第5回	高齢者保健医療福祉の施策と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第6回	介護を必要とする高齢者の支援 担当：布花原明子
第7回	母子保健施策にもとづく母子（親子）保健活動 担当：布花原明子
第8回	母子（親子）保健活動において支援ニーズが高い対象者への支援 担当：布花原明子
第9回	歯科保健の現状と対策および公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第10回	感染症予防法にもとづく施策と公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第11回	感染症の疾病管理の特徴と公衆衛生看護活動－結核を中心に－ 担当：布花原明子
第12回	障害者（児）の生活を支援する公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第13回	難病保健福祉対策における公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第14回	精神障害者の療養生活を支援する公衆衛生看護活動 担当：布花原明子
第15回	保健師活動指針の視点から生涯を通じた公衆衛生看護活動を展望する 担当：布花原明子
テキスト	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院） 公衆衛生がみえる 2022-2023 *1年生「公衆衛生学」テキスト

参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	国民衛生の動向（厚生統計協会） 保健師業務要覧（日本看護協会出版会） 保健師ジャーナル（医学書院）
課題に対するフィードバックの方法	課題は、第 14 回授業終了後に作成したファイルを提出して下さい。第 15 回授業で、ファイル返却時に評価結果を返却します。
学生へのメッセージ・コメント	この授業では、社会保障概説、保健統計学、健康教育論で学習した内容と、同時進行中の小児、母性、成人、老年看護学の知識が必要です。予習及び復習の課題は、第 1 回授業時に全回分を提示します。他の授業課題と両立させて計画的に取り組んで下さい。 また、保健師ジャーナルには、各授業のテーマに関する実践活動が紹介されています。興味のあるテーマは、積極的にテキスト以外の文献も読んでいきましょう。